

刊夕日三十月七



刊日
第一種金五銭
第二種金三銭
第三種金二銭
第四種金一銭
第五種金五銭
第六種金三銭
第七種金二銭
第八種金一銭
第九種金五銭
第十種金三銭
第十一種金二銭
第十二種金一銭
第十三種金五銭
第十四種金三銭
第十五種金二銭
第十六種金一銭
第十七種金五銭
第十八種金三銭
第十九種金二銭
第二十種金一銭

歴史を中斷するもの

S K 生

聖徳太子が憲法を造られたとき、その第一に「以和爲貴無忤爲宗」と云はれたのは、かゝる理論から離れて、行の國日本の眞髓を掴まれたところにある。然るに今日、その日と英とを比較して見るに、英國は將にその本來の力を失はんとしつつある。それがその奉ずる神が結局理智の所産であるところから、理智的に將にそれを失はんとするところに根本をもち、實際に於てはロイドジョージの率ゐた第三黨即ち労働者の進出によつて社會組織が失はるゝに至つたからである。それに反して日本は八百萬の神神乃至天皇は知的に構成したものでなくして和から出て來た現實的存在である。それ故にこの行き詰つた世界の國情に於て、英國はお互に争ふてゐるし、日本はお互に結果して争ふてゐるものの中に進出する力を遺憾なく發揮してゐるのである。東郷さんのお葬式を拜見したのであるが、東郷さんの活動は、あの恐ろしかつた英國の國旗に向

つて發砲されたことに始つて居るが、その當時は日本も全世界も英國によつて引きぢられ、その英國のやうにならうとしてゐたが、その東郷さんの御葬列には足の短い日本人が、而もゆつくり歩いてゐるその後ろに英國其の他の國の海兵が如何に苦しうさうについて行つてゐるかを見て、如何にもそれが現代日本の状態を示してゐるやうに思はれてひそかに涙を流したのである。その東郷さんは純粹行の人

000000000000
000000000000
000000000000
000000000000
000000000000
000000000000
000000000000
000000000000
000000000000
000000000000

【朝】味噌汁—馬鈴薯 小付 煮豆
【晝】鹽やき—鱈 大根おろし
【晩】清汁—流し玉子 酢のもの—胡瓜もみ 花かつを 焼物代り (鯛のつくねやき)

で、一生涯を通じて、未だ可否の決定を口に出したことのなかつた人である。即ち生きながらの神である。三、尺貫法とメートル法等しく行の國であるが、英國は個人主義の國であり日本は國家主義—否、その場合には國家主義といふもなほ不都合で、神の國と云はねばならぬが—であ

り、生活の基底になるものを立て、それを命とし光として、それに歸依、奉仕することによつて、國家組織が成り立つて行く。然るに英國にはドイツにない單位といふ言葉があつて、その單位を動かさぬ。それで外國がどうであらうと。あの複雑な度量衡制度—それは結局自己の生活に基いたものであるから—を直ぼさうと考へない。處が日本に於て、一般的の學問といふやうなことに捉はれて十數年前に尺貫法を廢してメートル法採用といふことが議決せられたが今日、日本精神といふことの自覺の上から尺貫法存続といふことが問題となり、前議會に於ては衆議院では全會一致を以てメートル法採用以前のものに戻すことに可決してゐる。蓋し或種の物を取扱つてゐるものにはメートル法は便利であらう。殊に科學者の如く机の上で萬億兆の數字を取扱ふ人にはメートル法は便利であらう。しかし祖先傳來の田を耕し自分の郷里に於て交通の道具を利用しないで徒歩する人にはメートル法は何等の意味も價值もたない。

格
紳士靴
婦人靴
學生靴
夏向白靴

菊地靴店
電話六五九
平四 マルトモ内

小店員入用
御希望の方は當店迄御出下さい

阿部石炭店
電話三十七番

北川外科

内臓外科
レノドゲン科
醫學博士 北川芳次
小川良次
電話四六四番
平町新川町(諸橋醫院跡)

品自慢と正直な値段

自轉車・リヤカー
フタバ商會
新川町郵便局前

吸入用酸素純度99%

モノサシ
マス
ハカリ
器量計
寒暖計
秤ノ取絡・垂糸・修繕致シマス
關内藥局
電話四〇番

喜多流謠曲と仕舞

お稽古をお奨め致します
喜多流 仕舞 白土會
平町田町六九
電話一二七番

東北興業株式會社並ニ東北振興電力株式會社株式募集

資本金額 各金參千萬圓
募集ノ額面金額 各金五拾萬圓也
壹株ノ額面金額 拾萬圓也
申込株數單位 五株又ハ其ノ倍數
申込證據金壹株ニ付 金貳圓五拾錢
申込期間 自昭和拾壹年七月拾四日 至昭和拾壹年七月拾七日
(但シ期間中ト雖モ締切コトアルベシ)
應募株數ガ募集株數ヲ超過シタル場合ニハ設立委員ニ於テ適宜割當決定ス
金拾貳圓五拾錢
昭和拾壹年八月貳拾五日
申込取扱銀行 株式七十七銀行平支店
電話 四一四番

喜多流謠曲と仕舞

お稽古をお奨め致します
喜多流 仕舞 白土會
平町田町六九
電話一二七番

阿部石炭店

電話三十七番

小商店員入用

御希望の方は當店迄御出下さい

復舊工事

七萬參千圓

十日の豪雨被害

平土木監督所の調査完了

去る十日石城郡下を襲った豪雨被害は平土木監督所で調査中の處道路、河川、橋梁、港灣に於て縣工事、町村補助工事、應急工事を含む復舊工事總額七萬二千八百四十圓に上つたが内譯は左の如し

△縣工事△道路二萬二千圓(平、小名濱線鹿島地内三千八百圓外九ヶ所)△橋梁四千八百圓(圓江名平線高久橋二千二百圓外二ヶ所)△河川八千八百八十圓(澤渡地内好間川二千四百圓外五ヶ所)計十九ヶ所三萬五千六百八十圓

△町村補助工事△橋梁一萬七千圓(玉川地内島橋七千八百圓外四ヶ所)△河川一萬六千五百圓(大野地内高倉川四千五百圓外四ヶ所)△港灣八千二百圓(豊間漁港防波堤一ヶ所)計十一ヶ年三萬五千七百圓

△應急工事△道路九ヶ所八百圓△河川三ヶ所三百九十圓△橋梁二ヶ所二百七十圓 計一萬四千六十圓 總計七萬二千八百四十圓

多年懸案の

火災保険料

引下げの調査

協議代表來平

平町火災保険料率引下げ運動は既報の如く町會初め關係各方面が熱心に當つてゐたが、明後十五日午後十二時四十分着を以つて大正海上火災保險株式會社仙臺支店、並に東京火災保險株式會社仙臺支店の各支店長が來平、消防施設及び市街建

物水道施設その他に就いて調査行ふことになつたが此の視察の結果は保険料率引下げに重大な影響を及ぼすこととなるため平町に於ては各關係方面が種々打合せを行つて調査後の好轉を期してゐる

社會事業講習

科目決定

既報來月五日から四日間小

番狂はせの

教員野球戰

平軍枕を並べて敗退

郡下小學校教員の軟式野球大會は既報の如く昨日午前八時から平商、平第一、同第三の各家庭に開催フアンプレーを展開一般フアンを熱狂せしめたが各チームのスコア左の如く昨年の弱者平第一が湯本に破られまた優勝候補として自他共に許してゐた平第二が泉に敗れる等大番狂を生じ遂に小名濱泉兩軍が勝残つたが同決勝戦は明十四日午後三時半から平第一校庭で行ふ

第一回戰

平第一 5 — 8 湯本
平第三 3 — 7 好間
平第二 1 — 13 小名濱
内 2 — 21 勿來
内 3 — 9 高

名濱小學校に開かれる縣主催の社會事業講習は各講師の講習科目が左の如く決定した

公益質屋經營法(内務省事務官)方面事業及其の他(東京帝大教授穂積博士)新生活運動(社會課長内瀬一氏)方面委員實務に就いて(社會事業主事照沼哲之助氏)幼児の心理と教育(帝大助教青木清四郎)唱歌及遊戯(保母養成所講師仲藤義子)

炭礦リーグ戰

平商入山庭球 平商對入山の庭球戰は昨日午前九時から入山コートに開催されたが五對三で平商が敗れた

平驛劍道發會式に

管内の有段者招聘

地方有段者と對抗 華々しい激戰展會

平鐵道俱樂部で去月から開始した鐵道從業員の劍道班は既記の如く毎週土日曜午後には平署道場練習を行つて居るが来る十九日午前九時から劍道班發會式を兼ね

平局で第十一回の

勸業債券賣出し

好條件に申込早くも殺到

平郵便局では来る十五日日本勸業銀行の十一回割増金付勸業債券を賣出すがこの債券は十圓で額面二十圓の債券が買へ一定期間の後勸業に賣る際は二十圓で賣れ

し當日の申込みには應じ切れぬ盛況を見せて居る

無設置村に

設置勧誘

信組部會で活動

石城信用組合部會は現在郡下に於ける信組無設置村である永戸箕輪、三坂澤渡兩組合村及び上遠野村の三村に組合設立運動を勧誘して來たか来る十九日永戸村で

市原醫院

平町・四町 電話一四番

組合設立に關する映畫會を開き廿日には部落有志と協議會を開き更に廿一日箕輪村で同様の催しを開いて組合設立の機運を促進させることになつた

平町人事

回出生

△鎌田町三一 當時湯本町大字關船字迎一〇〇佐藤金吾氏三男男男さん
△鍛冶町三 谷口弘仁氏長男彰一郎さん
△播磨小路二四 當時横濱市中區花之木町一丁目一須藤又次郎氏四女記代さん

回死亡

△鎌田町九 平林ミサさん (二七)
△新川町五 鈴木武子さん (五七)

防空演習の

防護團協議會

郡下各町村が一堂に會して

空の護りに萬全を期す

(既報) 今秋九月十一、二の兩日、縣下一圓に亘つて執行されることに決定した防空演習は燈下管制を全縣下に執行すると同時に防護區域は福島、若松、郡山三市並に平、白河の二町を中心に行はれるので石城郡下各町村では、廿七日警中、卅一日平商の兩校で之が協議會を開催打合せを行ひ同時に防護團を左の如く九班に區分して萬全の準備を圖ることになつた。

救護、警報、防火、交通整理、避難管理工作、防毒、配給

尙今回の防空演習参加は陸軍諸部隊(歩兵第二十九聯隊、飛行隊一個大隊、高射砲隊二個中隊、照空隊二個中隊)縣、遞信局、鐵道局その他縣下各町村官公衛、諸團體である。

防護教育

指導擔任

別項、今秋防空演習の際石

城郡下各町村の防護教育指導擔任將校並に區域は左の如し

- △佐藤(平商配屬)擔任 (植田署管内)入道野、田人外三ヶ村組合、上遠野、泉、川部、渡邊、勿來、山田、錦、植田、(平署管内)小名、江名、飯野、鹿島、磐崎、内郷、好間、赤井、永戸箕輪組合、湯本
- △大井川(警中配屬)擔任 (平署管内)平、夏井、高久、豊間、神谷、平窪、上下小川組合、三坂澤渡組合、(小野新町署管内)川前、(四倉署管内)四倉

奇禍の青沼平町長

全快退院して自宅静養

(既報)平驛構内で奇禍に遭つた青沼平町長は同町市原醫院に入院治療中であつたがその後の経過順調で本十三日午前四時半全快退院當分自宅で静養することになつた。

安藤子爵

町長を見舞ふ

安藤子爵は青沼町長見舞の爲め麻生川家扶を随行して

紡糸室竣工

男女工募集

錦村昭和人絹工場は過般の本縣に於ける稀有の災禍惹起以來、之が復興作業を續行中の處、この程紡糸室が竣工する十日試運転を行つたが今秋九月迄には日産十七噸を目指して愈々本格的作業を開始することになり新らたに不足を告げてゐた男工八百名、女工千名の再募集を行ふことになり地元錦村方面は亦々活氣を呈して來て居る由

平機關庫で

運轉競技會

平機關庫では明十三日から八月末日迄平原の町間八二〇貨物列車で貨車の運轉競技會を開く

十四日

今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間 ラヂオスケッチ「博多山笠」福岡放送送話研究会
- 後七、三〇 東北振興大講演會實況—東北帝大法文學部講堂より中繼
- 後九、〇〇 管絃樂 組曲「アルプスの風景」マンスネ 作曲 日本放送交響樂
- 明日の部
- 後九、三〇 時報 ニュース 明日の話題 番組豫告 氣象通報
- 前六、三〇 基礎フランス語講座 丸山順太郎
- 前七、〇〇 一朝の修養「碧殿録」伊藤道海

熄むことを知らぬ

無常の荒天異變

郡下農作物危機に瀕す

石城地方の天候は去月二十六日以来グツキ出し氣温は低下するばかりで拾着ても火が燃しい日が続き商農民ともに滅入つてしまつた、殊に水稻には既報した赤枯、稻熱病が発生し終熄を知らず各町村農會と技術員は豫防に夜を日に徹してゐる始末だつたが、こんどは刈取季の大、小麥が腐れ

小賣經營の講演

平商工會で催す

平商工會では市内小賣業者の爲め東京小賣業研究所講師前葉伸子氏を招き今十三日午後七時からマルトモホールに於いて同講師の「小賣經營に就いて」の講演會を催す

女教員團視察

岩瀬郡小學校の女教員團十餘名の一行は來る十五日來平、市内三小學校の授業視察を行ふ

岩瀬郡小學校の女教員團十餘名の一行は來る十五日來平、市内三小學校の授業視察を行ふ

人命救助表彰

去る四月中神奈川縣の遭難漁船を救助した江名町植作漁夫吉田代、鈴木清助、渡邊與平、同町幸町坂本卯之助、同町折戸吉田幸次郎の五氏はこの程人命救助の廉に依り同縣知事より金一封を添へ表彰された

美容講習開催

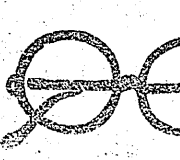
平女子青年團は既報の如く十一、二の兩日第二校講堂でテラミー美容科學研究所の紺野富久子女史を招き美容講習會を開き出席者百餘名の盛況を呈した

不審の少年

十二日窃盜罪自白

夜十一時頃平驛待合室を徘徊する少年を平署草野刑事が誰可するや矢庭に逃走を圖つたので追跡格闘の

計時



高橋時計店

- △出前持 十五、廿才迄 尋卒 給五圓
- △見習看護婦 廿三才 高卒
- △サイドカー運轉手 卅才 尋卒
- △コック 廿四才 尋卒
- △化學藥品職工 廿一才 中卒



悟道軒圓玉(作) 尾至陽(書)

一六九 江戸ツ子の魂 井口平左衛門方の出入りの者は主人の申すを聞いて...



平「そこで官軍の方が人数が多く上野にゐるは今のところでは千人とか千五百人...

源平時代だ 飛んで来ますね 平「それはわからぬが...

とも申しますが、鐵砲玉は今もいふ通りあぶねなものだ...

「こんなことは不親切の方がある」 平「なまけねえ奴らだ、永年の間御恩にあづかつたを...

「それにはい、目印がある」 平「そんなものでございませぬ」...

平「これを頭へつけて行くと出したを見ると、とそを入れる赤い絹を三角に縫上げた袋です」...

吉田眼科醫院

平紺屋町 電話 六八番 醫學士 吉田久雄

Advertisement for '衛生サツク' (Hygiene Satsuku) with a list of products and prices, including '絶対保證できる性器具'.

御挨拶 酷暑を迎へます折柄謹みて皆々様の御健康をお祈り申上げます

御挨拶 水野化粧院 院主 水野冬子 電話 六七八番

御得意皆々様方に 靈効散 胃腸藥 を御試し下さい

阿康藥局 處方調劑所 電話 四四番